

相談員及び支援員を養成するための講座の開催

総事業費	916 千円
交付金額	687 千円

地域の実情と課題

- ・区の女性相談事業における過去3年間の29歳以下の相談者数は、全体の2～4%程度である。また、若年層の居場所としてティーンズ・センターを開設しているが、認知度は低い。
- ・新型コロナウイルス感染拡大やコロナ禍等の社会情勢の影響を受け、孤立や貧困等の困難な問題を抱える女性は増加傾向にあると言われており、社会的支援を必要とする女性に必要な情報や支援が十分行き届いていないという課題がある。

事業の特徴

困難を抱える女性への支援のあり方を学ぶ講座を実施し、DV・児童虐待をはじめとする暴力の問題や、女性支援の在り方を学ぶ。また、LINE相談・アウトリーチ支援を行う際に必要な基礎知識を身に付け、相談員・支援員としての活動開始に繋げる。

事業の効果

- ・令和4年6月～7月に実施した養成講座の申込者は30名、修了者は29名だった。当初の定員は25名であったが、定員を上回る申込みがあったため、感染症対策を講じて30名を受け入れた。
- ・修了者の大多数が、LINE相談員やアウトリーチ支援員として活動することを希望し、結果3名がLINE相談員として活動することになった。前記3名以外の修了者は、事業委託業者が実施している他の活動にボランティアとして参加する等、相談員・支援員としての活動に至っていないが、女性への支援活動の契機となっている。

目的・目標

LINE相談やアウトリーチ型支援を安定的かつ継続的に実施するためには、相談員や支援員の確保が重要である。このため、相談員・支援員を養成するための講座を開催し、相談員・支援員を養成・確保する。

<目標>

相談員・支援員養成 5名

連携団体

東京都北区女性活躍推進協議会
NPO法人
北区社会福祉協議会
区内教育機関・北区教育委員会
北区子ども家庭支援センター
北区生活福祉課 等

今後の課題

- ・相談員・支援員養成講座を通じて、相談員・支援員としてのスキルを身に付けてもらうことが課題である。
- ・講座修了者のうちLINE相談員やアウトリーチ支援員として活動する修了者がどの程度誕生するかが課題である。

<概要>

LINE相談やアウトリーチ型支援の安定的かつ継続的な支援を実施するためには、相談員・支援員の確保が重要であることから、相談員・支援員を養成するための講座を開催した。

<実施日>

6月4日(土)
6月5日(日)
6月26日(日)
7月3日(日)
7月17日(日)

<講座の内容>

—養成編—

1日目: ①抑圧理論、②性暴力、③DV
2日目: ④トラウマ、②法律関係、③アドボカシー・クライシス
3日目: ⑦危機介入、⑧子どもへの虐待、⑨高齢者・障がいを持つ人々
4日目: ⑩加害者、⑪⑫多文化社会におけるDV・自己確認テスト、修了式

—LINE相談員研修—

5日目: LINE相談員になるための研修

<参加者数>

30名

<講師>

NPO法人
女性ネット
Saya-Saya

「LINE相談員及び
アウトリーチ支援員
養成講座」の受講



委託業者による面接



LINE相談員・
アウトリーチ支援員
として活動